

## 【プログラム13:今考える将来設計は?】

☆ねらい：今の段階で自分の将来について考えることにより、今後の見通しをもたせるとともに、これからの進路や将来設計に役立てようとする心情を高める。

### 《プログラムの概要》

キーワードの例	自分の将来
時間	25分
人数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	ワークシート（人数分）
主な活動	①4択クエスチョンを通して考える。 ②今考える「未来予想図」を書く。 ③感想や考えたことなどを全体に紹介する。
気を付けること	○どの活動も自分の人生設計を考える大事なものであることを初めに確認する。 ○真剣に自分の将来を考えようとする雰囲気をつくる。 ○本プログラムを中学生にも行うことはできるが、就職、進学などがまだ先の事になってしまうので、どちらかというとな高校生が取り組んだ方がより効果的である。中学生が実施するときは、「4択クエスチョン」の問いや「未来予想図」の年齢の枠を変更したりする。
備考	○進路指導の前段階として、関連付けて本プログラムを活用することもできる。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（3）カ 【中学校 学級活動《現》】内容（3）オ 【中学校 学級活動《新》】内容（3）ウ